

CLOSE UP Nurse!

ナースの現場

医療法人社団 藤聖会 八尾総合病院

04

「おわら風の盆」で全国的に知られるまち富山市八尾。八尾総合病院は、その八尾地区になくてはならない存在です。

のどかで人情に厚い土地柄で、急性期から回復期リハビリ、在宅医療までを一貫してカバーするナースの仕事ぶりについて聞きました。



地域に密着した 幅広いナース

忙しくなるんですよ」そう説明するのは、

副院長で看護部長の高堂喜美子さん。

毎年9月1日が近づくと、富山市八尾の人たちは落ち着かない日々を過ごします。この地に代々伝わる「おわら風の盆」を迎えるからです。県外へ働きに出ている人たちも休みを取って里帰り。優美で幻想的な踊りを一日見ようと全国から人が押し寄せます。

「入院している患者さんも、外来の患者さんも『おわらまでには帰りたいねえ』とか『治したいねえ』があいさつ代わり。おわらの時期は病院の当直体制も普段の2倍になります。事故などで病院に搬送される患者さんは案外多いので、わたしたちも

八尾は、富山市の南西部、岐阜県と富山県境の街道筋に広がる地域。富山市内の中北部からは車で40分ほどの距離で、平成の市町村合併で富山市になりましたが、昔から養蚕業や稻作が盛んな土地で、のどかで人情に厚い地域風土で知られます。

グッド・ネイバーズの精神で 地域完結型の看護をめざす。



柳田 淑美

八尾総合病院はそんな地域で唯一の総合病院。急性期から慢性期、回復期リハビリ、訪問看護までの一貫した医療と看護を引き受けています。「八尾という地域で完結できる体制を整えてきたことが看護の特徴になっています。市中の拠点病院とは距離はありますが、地域連携室を通じて強い連携がとれており、チーム医療や回復期リハビリを含めたしっかりと医療、看護体制が整っています」と高堂看護部長がアピールするように、すべての病期で地域に密着し、心に寄り添う看護を開拓していきました。勤務するナースも急性期から慢性期、回復期リハビリ、訪問看護まで幅広い人材が揃っています。

高堂 喜美子
たかとう・きみこ
副院長兼看護部長。
富山県黒部市出身。

「一年目から院内の褥瘡対策委員会に所属し、主に慢性期の患者さんを看護してき

自分のめざす看護が実現できる



ました。患者さんが良くなつて喜ぶのを見て、より高い専門知識を身につけることで、もっと良くなる患者さんが増えればいいと思つて認定看護師をめざしました。看護の道に進んで心からよかつたと感じています。ただ認定看護師としてスタートラインに立つたばかりなので、もっと専門知識を磨き、ゆくゆくはこの地域で皮膚排泄ケア分野でなくてはならない存在になりたいと思つています」

中川さんと看護学校で同級だった柳田淑美さん（ナース歴8年）は、高校の時からヘルパーの資格をもち、「実習で出会った素敵なお訪問看護師さんにあこがれて」看護の道に進みました。大学病院など急性期病院で神経内科や耳鼻科の混合病棟などを経験、八尾総合病院に入職、現在は回復期リハビリ病棟に勤務しています。八尾の出身で「顔見知りの患者さんが多く、お互いに声を掛け合い、なんでも気軽に相談していただける関係」を築いています。「地域の患者さんたちの病気だけでなく、生活にも深くかかわっていけることが看護師としての喜びです。大きな急性期病院より、自分の故郷でゆつたりと患者さんのお世話をするのが性格にあつています」と



高堂 喜美子
たかとう・きみこ
副院長兼看護部長。
富山県黒部市出身。



佐藤 百合子
さとう・ゆりこ
看護師長。
富山県魚津市出身。

高堂看護部長が着任した4年前から、八尾総合病院では、自分のなりたいと思う看護職を実現するために全面的に支援する事が、生き生きと働くことに繋がるという考え方から、看護師の育成や定着にも積極的に取り組んでいます。現場をまとめる佐藤言う柳田さんは、リハビリ関係の認定看護師をめざし、将来は地域のお年寄りの自立支援を支える訪問看護師になる夢をあたためています。

患者と病院が、良き隣人関係

「小さいころおわら風の盆を見ていいまちだと思っていました。親切な人が多く、親しみやすい印象もあります。それに、高校のころ富山の中心市街地まで患者さんを送迎する八尾総合病院のバスを、1日何回も見かけたことも親近感を覚えました。

Profile



なかがわ・ゆうや
皮膚排泄ケア
認定看護師。
ナース歴8年。
富山市出身。

創傷処置や、日常生活上生じる苦痛を、少しでも軽減出来ればと思います。

やなぎだ・よしみ
回復期リハビリ
病棟看護師。
ナース歴8年。
富山市出身。

患者さんの「家に帰りたい」という思いに寄り添い支える看護を目指します。



たけうち・はるか
急性期病棟看護師。
平成24年4月入職。
富山市出身。

患者さんにとって身近な存在でいられる看護師を目指して頑張ります。



むらい・ちえ
訪問看護師。
ナース歴28年。
富山市出身。

患者様とその家族の心に寄り添った看護の提供を日々、心がけています。



竹内春香

急性期から慢性期、回復期、訪問看護まで幅広い看護に取り組んでいる病院なので、できるだけ多くの患者さんと接しながら自分の道を探したいと思います」

八尾総合病院の理念は

「Good Neighbors（良き隣人でありたい）」。意味するところは、患者と病院という関係だけではなく、昔ながらの隣人のように人情に厚く、心のふれあいができる家族のような関係でありたいということを示しています。

ナース歴28年の村井智恵さんは、まさに「隣人のような感覺で日々、患者さんと向き合っています」という訪問看護師。急性期から産婦人科病棟まで様々

患者さんの心に寄り添いながら、健康で快適な暮らしを営める喜びを実感しているのです。

リ、在宅医療までの一貫した医療と看護を提供する八尾総合病院は、まさに地域の人たちの良き隣人として欠かせない存在なり、

な看護を経験、そのキャリアを看取りを含めた在宅の看護に生かしています。「訪問看護は現場に出れば一人。孤独感や不安はありませんが、患者さんから『あなたが来るのを待ってたよ』と言われるのは嬉しいものです。また病院に戻れば、ドクターはもちろん薬剤師やリハビリスタッフ、栄養士など多職種の人たちと意見交換したり、チームの一員という喜びがあります。患者さんと家族の心に寄り添える看護を心掛けながら、今は一人ひとりに合ったサービスを提供できることに喜びを感じています」



村井智恵